

# PCSA アクションレポート (理事会)

平成 29 年 10 月版

## 10 月拡大理事会

開催日時 平成 29 年 10 月 19 日 (木) 午後 4 時～午後 5 時 30 分

開催場所 PCSA 会議室

出席者 理事 10 名、幹部 5 名、賛助会員オブザーバー 18 名 合計 33 名

<代表理事>

加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長

<副代表理事>

大石 明德 株式会社ニラク 取締役

金本 朝樹 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長 (アメニティーズグループ)

齊藤 周平 株式会社ジョイナス 常務取締役

<理事>

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長

荒俣 伸一 株式会社ボネール AM 事業部 部長

石川 直史 株式会社ワールド 代表取締役社長

金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長

河本 成佑 株式会社晋陽 代表取締役社長

<専務理事>

中島 基之 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会

※理事 10 名

<監事>

川辺 悦史 株式会社セルノ 代表取締役社長

宮村 伸輔 JCM システムズ株式会社 法人担当部長

<モデレーター>

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長

<アドバイザー>

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表

藤田 宏 エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長

<賛助会員オブザーバー> 14 社 18 名

國澤 良幸 株式会社大商 会長

秋山 学 株式会社マースエンジニアリング 執行役員 広域営業推進室長

江藤 征弘 株式会社マースエンジニアリング 首都圏営業部部長

石黒 勝 三本コーヒー株式会社 取締役

竹田 雅俊 株式会社ピーエーネット技術研究所 取締役社長

吉田順一朗 株式会社エース電研 営業拠点長

長久保 明 ジャパンネットワークシステム株式会社 統括マネージャー

若山 佳則 ジャパンネットワークシステム株式会社 課長  
 中村 克彦 ゼニス株式会社 代表取締役社長  
 佐藤 佳春 グローリーナスカ株式会社 営業本部 部長  
 大間 智之 メディアシステム株式会社  
 岡本 健 株式会社東和商事 常務取締役  
 高頭 良輔 オリックス株式会社 アミューズメント営業部 部長  
 鈴木 智紀 オリックス株式会社 アミューズメント営業部 課長代理  
 羽島 正敬 株式会社山宝商会 常務執行役員  
 廣田 道明 株式会社山宝商会 流通部長  
 川上健太朗 ハイライツ・エンタテインメント株式会社 第一開発部次長  
 前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役本部長

## 第 1 号審議議案「新入賛助会員」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。

<記>

会社名：株式会社共遊商事（大阪府茨木市）

代表者：大島 健治 氏

事業内容：景品流通システム及び付随業務

紹介者：株式会社大商 國澤良幸会長

<意見>

・株式会社大商 國澤良幸会長のご紹介

・景品買取所経営会社

・9月大阪理事会参加企業に入会について再度アプローチする。（入会されない理由も問う）

<審議>

加藤：新入賛助会員として承認されるか？

一同：異議なし。

\* 最終承認は11月16日開催の第16期第2回臨時社員総会にて行う。

## 第 2 号審議議案「正会員 休会継続」審議【承認】

当件について、事務局より説明があった。正会員 丸中建設株式会社より休会届が届いた。第1回の休会が平成26年9月から28年8月まで、2回目の休会が28年9月から29年8月まで。今回が3回目で、29年9月から30年8月までの休会申請となる。PCSAの会則規約 第9条に「休会の期限は2年以内とし、期間内に復帰の申し出がないときは退会とみなす。但し特別な理由の申し出があるときは、理事会の決議により休会期間を延長することができる。」と記載されている。

<意見>

・休会中の費用は？ →年間登録料として月額会費額を納めている。様々な情報は提供している。

・休会理由は？ →業績の都合による、という事。

<審議>

加藤：正会員 丸中建設株式会社の休会継続を承認されるか？

一同：異議なし。

## 第3号審議議案「第62回PCSA経営勉強会 講師・テーマ」審議【承認（第一候補について）】

当件について、事務局より説明があった。

日時：平成29年11月16日（木） 15：30～17：45

会場：TKP ガーデンプレミアム神保町 大ホール（スクール240名）

第一部（15：30～16：30）（受諾済）

講演テーマ：「パチンコ・パチスロ遊技障害全国調査 調査報告」（案）

講師：石田 仁様（公益財団法人日工組社会安全研究財団 主任研究員）

第二部（16：45～17：45）

第一候補 講演テーマ：「遊技機メーカーの今後の戦略 第四弾 ～パチンコ編～」

第二候補 講演テーマ：「厚生省 ギャンブル依存推計と社安研パチンコ・パチスロ遊技障害全国調査 調査報告」

講師：河本 泰信氏（医療法人社団 正心会 よしの病院 副院長、社安研 研究会メンバー、元国立病院機構久里浜医療センター 精神科医長、一般社団法人 RCPG 理事）

第三候補 講演テーマ：「脳科学から見た依存のメカニズム」

講師：篠原 菊紀氏（諏訪東京理科大学 教授、一般社団法人 RCPG 理事）

#### <意見>

- ・第一候補のパチンコメーカーの意見を聞きたい。
- ・今の時期、開発の真最中で、情報を公開する講演ができるかは疑問。
- ・前向きな話をしたいメーカーもあると思う。
- ・戦略では無く、今回の規則改正でも楽しい遊技機を作れることを聞いてはどうか。
- ・パチンコメーカーは10社以上あるので何とか当たって頂きたい。
- ・全て断られた場合、電子理事会を開催する。

#### <審議>

加藤：第2部はメーカーにお願いするという事でよいか？

一同：異議なし。

## 第4号審議議案「法律ハンドブック2018」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。

#### <経緯>

8月通常理事会で「PCSAパチンコホール法律ハンドブック2018発行」について審議し制作の承認を得た。

9月拡大理事会にて、作業時間の内訳と分担の指示を受け、法律問題研究部会で検討した。その結果、スケジュール等を検討し、下記の案を作成した。

#### <PCSAパチンコホール法律ハンドブック2018内容（案）>

コンテンツ：

パチンコホール法律ハンドブック「基礎編（仮称）」の内容（法令の整理/解説）に加え、「応用編（仮称）」の内容（事例集）も含めたい。日々のホール営業に役立つハンドブックにするためには事例集が必須であるという意見が大勢であった。

スケジュール：

2018年5月定時社員総会に発行。

11月・・・「基礎編」編集作業

- 12月～ 1月・・・「応用編」編集作業  
 2月・・・全体構成確認。  
 3月・・・三堀弁護士への確認。  
 4月～ 5月・・・装丁、校正、製本  
 5月・・・発行

内容：

「基礎編（仮称）」・・・過去のハンドブックに最新の法令を置き換える。

「応用編（仮称）」・・・正会員、法律問題研究部会部員に掲載したい内容のアンケートを実施。  
 回答は法律部員で分担し荒稿を作成する。

部数：

1500部、製作費110万円

その他費用：

三堀弁護士への確認依頼費用

作業時間：

- ・「基礎編」234時間、「応用編」396時間、「推敲・荒稿」70時間、「合計」700時間と推計。
- ・これを3つの作業グループに分け、法律問題研究部会部員参加企業、事務局で分担する。ひとつのグループの人員は3名。
- ・主な作業時間と作業期間は11月から2月まで、期間中のひとりあたり作業にかかる時間は月約35時間（日数換算で月約5日間）を目安としている。

<意見>

- ・一人、一法人で作るという事ではなければ問題ない。
- ・基礎編で状況を判断して、必要に応じて進めていきたい。進捗の様子を見て今後の事（振り分け、発行時期）を考えていきたい。また、理事会に進捗報告をする。

<結論>

加藤：いただいたご意見を踏まえ、制作を進めてもよいか？

一同：異議なし。

## 第5号報告議案「10月電子理事会結果」報告

<第1号審議議案>

①RSN本部相談員増員（500万）、②相談時間を午後4時から午後10時まで延長（1080万円）、③対面無料相談実施（1080万円）。左記費用を21世紀会の14団体で負担する件。

<第2号審議議案>

全商協RSN支援室運営費用を21世紀会の14団体で負担する件（887万円）。

<審議結果>

第1号審議議案：賛成8名、反対0名、無回答5名（理事13名中）

第2号審議議案：賛成8名、反対0名、無回答5名（理事13名中）

\*ご意見： 特になし

以上の通り両議案とも過半数の賛成がありましたので当審議は「承認」となった。その結果をパチンコ・パチスロ産業21世紀会にその旨連絡した。

## 第 6 号審議議案「21 世紀会 書面承認報告ならびに業務委託契約書内容」審議【修正後承認（文言を挿入を依頼）】

当件について、事務局より説明があった。平成 29 年 11 月 11 日に 21 世紀会より、PCSA10 月電子理事会で審議をした 2 つの議案について賛成 13、反対 1 の多数決で可決されたとの連絡が届いた。それを受け、契約書、覚書の案分が届いた。この内容について確認の依頼が来た。

<意見>

- ・延長の相談対応は RSN が RCPG に業務委託をするため、2500 万円は RCPG に支払われる。
- ・RCPG に委託するという説明はあったが、なぜ RCPG なのかの合理的な理由は説明されなかった。
- ・品質的な担保として「委託先について 21 世紀会が品質検査できる」という条項を入れてはどうか。
- ・基本契約書の第 4 条で、定期報告、疑義があった場合の改善、疑義が解消されない場合は催告なく解約できるとあるので、担保されているかもしれない。
- ・いずれにせよ懸念事項は伝えた方がいい。

<審議>

加藤：業務委託契約書について、上記の一文を入れるよう修正依頼を出すという回答でいいか？

一同：異議なし。

## 第 7 号審議議案「21 世紀会 依存対策関連費用 負担割合（今後）」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。

依存問題対策を業界として進めていく必要がある。対策の内「RSN 出向社員費用」については 9 月拡大理事会の結果、PCSA の負担割合を 1.9%とすることで承認した。

10 月電子理事会で新たな対策費用の負担について審議し承認したが、今後生じる「21 世紀会 依存対策関係費用」について改めて理事に確認してほしいという依頼があった。そこで今後の「21 世紀会 依存対策関係費用負担割合」についての審議をする。

<意見>

- ・これは 1.9%で仕方がないか。

<審議>

加藤：7 号分の費用を PCSA は 1.9%負担するという事でよろしいか？

一同：異議なし。

## 第 8 号審議議案「平成 30 年度以降の RSN 支援継続」審議【継続審議】

当件について事務局より説明があった。

<経緯・審議事項>

平成 22 年 10 月拡大理事会において、「特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワークへの支援」の審議を致しました。最終的に 11 月通常理事会で可決承認され、平成 23 年度より平成 29 年度まで「ぱちんこ依存問題の相談・研究等に関する業務委託」という名目で予算を拠出している。支援額は平成 23 年、24 年は 100 万円、25 年～29 年は 105 万円、7 年間にわたり合計で 725 万円。今回、依存対策について業界で対応を構築していく中で、RSN への業務委託を再考すべき時と考え、これまで 7 年間続けてきた業務委託の継続について審議いただきたい。

<参考資料（平成 22 年 10 月拡大理事会 第 5 号議案）>

「特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワークへの支援」

1. 「パチンコ依存問題の相談・研究等に関する業務委託基本契約書」

契約当事者：「パチンコ・パチスロ産業 21 世紀会(14 団体)」と「特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク」

契約期間：平成 23 年 7 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日の一年間

契約時期：平成 23 年 6 月末日まで

2. 年間業務委託費用：2800 万円（パチンコ・パチスロ産業 21 世紀会の各団体で負担）

各団体負担金額：ホール 5 団体 50%・メーカー 9 団体 50%（各 1400 万円）

→平成 23 年 5 月覚書締結時はホール 5 団体 49.5%、全機連 49.5%、  
認証協・PSA それぞれ 0.5%。

3. ホール 5 団体負担額（平成 23 年 5 月）覚書締結時）

|                      |              |
|----------------------|--------------|
| 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会 | 100 万円       |
| 全日本遊技事業協同組合連合会       | 1,231 万 5 千円 |
| 社団法人日本遊技関連事業協会       | 40 万円        |
| 一般社団法人日本遊技産業経営者同友会   | 12 万円        |
| 一般社団法人余暇環境整備推進協議会    | 3 万円         |
| 合 計                  | 1,386 万 5 千円 |

#### <意見>

- ・第 7 号議案の費用との違いは？ →第 8 号議案は平成 23 年に全日が負担していた RSN の運営費用を業界全体で負担することとしたもの。第 7 号議案は IR 法成立に伴い新たに生じた費用。
- ・第 8 号議案は第 7 号議案分でカバーできないのか。 →使用する先が重なっている訳では無いのでカバーされていない。
- ・第 8 号議案は任意か？ →金額を決めた当時、各団体が任意で金額を決め、残りを全日が負担した。
- ・第 7 号議案の電話相談も今は夜 10 時までの対応だが、警察庁は 24 時間対応を求めている。
- ・これらは社会正義の費用を分担する形になっている。第 7 号議案、第 8 号議案合わせて全体の議論をするべきじゃないか。今の内から協議を持ち掛けたい。
- ・PCSA の 1.9%負担は協会のサイズに比べて大きく感じる。
- ・今後構造的に出ていくのであれば、ゼロリセットを考えればいい。
- ・費用按分はどこで考えるのか？ →ホールと全機連で半分にし、ホール部分はホール 5 団体で決める部分になる。
- ・すぐに決めなくてもいいと思われるので、継続審議にしてはどうか？

#### <審議>

加藤：それでは上記の意見を踏まえて、11 月に継続審議をするという事でよいか？

一同：異議なし。

### 第 9 号審議議案「第 17 期 総会スケジュール」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。

<会場>

「TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町 ボールルーム」  
 （東京都千代田区神田錦町 3-22 テラススクエア 3F）

- <第 17 期定時社員総会> 平成 30 年 5 月 24 日（木曜日）
- <第 17 期第 1 回臨時社員総会> 平成 30 年 8 月 23 日（木曜日）
- <第 17 期第 2 回臨時社員総会> 平成 30 年 11 月 15 日（木曜日）
- <第 17 期第 3 回臨時社員総会> 平成 31 年 2 月 21 日（木曜日）

<意見>

- ・地方から参加の場合、東京駅からのアクセスが不便。
- ・アクセスは悪いが、施設は新しく、天井も高く、費用が安い。

<審議>

- 加藤：来期の総会スケジュールは以上の日程でよろしいか？  
 一同：異議なし。

## 第 10 号報告議案「警察庁 訪問」報告

当件について事務局より説明があった。下記の通り、山田 好孝課長と面談を実施した。

日時：平成 29 年 9 月 26 日（火）午後 3 時～3 時 30 分

場所：警察庁 生活安全局保安課 課長室にて

参加者：山田 好孝課長、小清水 徹係長（警部）加藤 英則代表理事、中島 基之

<意見>

- ・射幸性を落とすのは賛成と伝えた。課長補佐は同席していない。

## 第 11 号報告議案「正会員調書（2017 年 10 月 1 日現在）」報告

当件について、事務局より説明があった。平成 29 年 10 月 1 日現在の会員の店舗数。遊技機台数の調査をした。正会員数は 22 社（他に休会 3 社）、店舗数は 710 店、パチンコ遊技機は 22 万 8962 台、スロット遊技機が 10 万 7704 台、合計で 33 万 6666 台となった。

## 第 12 号報告議案「第 48 回衆議院議員選挙 推薦状」報告

当件について、事務局より説明があった。PCSA 政治分野アドバイザーの衆議院議員が添付の通り立候補した。自由民主党 18 名、希望の党 10 名、日本維新の会 5 名、立憲民主党 1 名、無所属 2 名、他に非 PCSA 政治分野アドバイザーが 2 名。なお、鈴木 克昌議員は引退した。

<意見>

- ・掲載されている選挙区は解散前の選挙区か。→その通り
- ・野田聖子氏はどうなっているのか？ →大臣就任時に PCSA アドバイザーを辞任した。

## 第 13 号報告議案「研究部会・委員会活動」報告

当件について、事務局より説明があった。

### 1) 人事問題研究部会（リーダー：志賀 健太郎）

1. 10 月研究部会（10 月 13 日（金）11 時～15 時 開催・PCSA 会議室にて）  
 <定例研究部会>

- ・マルハン×ダイナム情報交換会について
  - ・9月拡大部会（株式会社 TRY&TRUST 様訪問）振り返り
  - ・11月拡大部会（株式会社ダイナム様・株式会社マルハン様訪問）について
  - ・12月女性活躍推進情報交換会 概要検討
  - ・労政時報勉強会
    - ① 就業規則の実質的な周知と懲戒
    - ② 解雇後の予告手当除外認定
    - ③ 鳥伸事件判決文・解説
    - ④ 社保・給与\_事務手続きミス
  - ・各社トピックス共有
2. 11月拡大研究部会 in 福井（11月9日（木）～10日（金）開催予定 福井にて）
- <拡大研究部会・店舗見学会>
- 平成29年11月9日（木）
- |       |                |             |
|-------|----------------|-------------|
| 店舗見学会 | ダイナム武生店        | （株式会社ダイナム様） |
|       | ダイナム信頼の森 福井越前店 | （株式会社ダイナム様） |
|       | マルハン福井店        | （株式会社マルハン様） |
- 平成29年11月10日（金）
- 9:00 拡大人事問題研究部会 in 福井  
（福井市地域交流プラザ AOSSA ※JR 福井駅徒歩 3分）
- 12:00 部会 終了

## 2) コスト問題研究部会（リーダー：佐藤 千恵）

---

1. 10月研究部会（10月12日（木）13時～17時 開催・PCSA 会議室にて）
- <定例研究部会>
- 内容：企業プレゼンテーション「地方の特選&銘品ご案内」株式会社サイトコ様
- ・企業トピック 1「LED 導入 コスト削減検証」株式会社セントラル伸光
  - ・企業トピック 2「LED 導入対比について」株式会社ボネール
  - ・コスト問題研究部会 プレゼンテーション申込みについて  
賛助会員 株式会社山宝商会 「ホール用エアコンのレンタルサービス」
  - ・部員近況報告（コスト関連情報交換）
  - ・コスト削減に関する情報共有
2. 11月研究部会（11月9日（木）13時～17時開催予定・PCSA 会議室にて）
- <定例研究部会>
- 内容：企業トピック
- ・賛助会員プレゼンテーション 株式会社山宝商会
  - ・12月勉強会 開催について
  - ・コスト削減に関する情報共有
  - ・部員近況報告（コスト関連情報交換）

**3) 不正対策研究部会 (リーダー：松本 浩)**

---

1. 9月研究部会 (9月15日 (金) 13時～15時開催・PCSA 会議室にて)
    - ・8月ゴト被害アンケートについて
    - ・最新ゴト情報について
    - ・内部不正対策について
    - ・遊技機からの発火事例 質問書 報告
    - ・日電協訪問 依頼書 報告
    - ・不正対策研究部会 質問コーナー「誤差玉・メダルについて」
    - ・内部不正対策について
  2. 10月拡大研究部会・勉強会 in 大阪  
(10月27日 (金) 13時～15時開催予定・JEC 日本研修センター江坂にて)
    - ・9月ゴト被害アンケートについて
    - ・最新ゴト情報について
    - ・内部不正対策について
- 第41回 PCSA 不正対策勉強会 (10月27日 (金) 15時～17時)  
 演題：『最新のゴト情報について』  
 講師：有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役 高石 隆一 様

**4) 法律問題研究部会 (リーダー：荒田 政雄)**

---

1. 9月研究部会 (9月30日 (土) 13時～16時開催・PCSA 会議室にて)
 

内容：日常営業における全国各地の事例について情報共有

  1. 依存問題対策プロジェクトチーム 報告
  2. 「新基準に該当しない高射幸性遊技機設置状況の推移について (日工組・日電協)」
  3. 風営法規則改正「検定機、認定機、みなし機」対応について
  4. 法律問題研究部会 質問コーナー
    - Q1：会員が死亡した場合の貯玉の処理について
    - Q2：自然災害や天災等が発生した際の営業実施の可否や営業継続の可否の基準について
    - Q3：家族申告による「入店制限」について実施可否も含めてどのような意見をお持ちですか？
    - Q4：遊技客の店内での撮影 (遊技機の画面や大当たり回数等) について
    - Q5：ワンデー・カードの当日清算忘れへの対応について
    - Q6：ゼロ円営業について
  5. PCSA パチンコホール法律ハンドブック 2018 改定 新版 発行について
2. 10月研究部会 (10月28日 (土) 13時～16時開催予定・PCSA 会議室にて)
 

内容：日常営業における全国各地の事例について情報共有

  1. 依存問題対策プロジェクトチーム 報告
  2. 「新基準に該当しない高射幸性遊技機設置状況の推移について (日工組・日電協)」
  3. 風営法規則改正「検定機、認定機、みなし機」対応について
  4. 法律問題研究部会 質問コーナー
  5. PCSA パチンコホール法律ハンドブック 2018 改定 新版 発行について

**5) 遊技法案研究会（委員長：荒田 政雄）**

1. 10月研究会（10月19日（木）14時45分～15時45分開催予定 PCSA 会議室にて）  
内容：遊技くぎ問題・賞品（景品）問題について  
その他
2. 12月研究会（12月21日（木）14時45分～15時45分開催予定 PCSA 会議室にて）  
内容：遊技くぎ問題・賞品（景品）問題について  
その他

**6) 依存問題対策プロジェクトチーム（リーダー：辻 良樹）**

1. 9月PT（9月30日（土）9時30分～12時開催・PCSA 会議室にて）
  1. 第3回ギャンブル依存症対策推進関係閣僚会議（2017. 8. 29）について
  2. 一般社団法人 RCPG について
  3. 第8回依存問題対策推進会議（2017. 9. 27）について
  4. 21世紀会による「RSN 相談機能強化等」（2017. 9. 28）について
  5. 安心娯楽通信4号（2017. 9. 21）について
  6. 自己申告プログラムについて
2. 10月PT（10月28日（土）9時30分～12時開催予定・PCSA 会議室にて）
  1. 依存問題とは（問題点の明確化）
  2. 情報収集・共有
  3. パチンコホールの取組みの整理、独自の対応の提案
  4. 中長期的なパチンコのあり方の研究

**第14号報告議案「業界団体活動」報告**

当件について、事務局より説明があった。10月11日に全日遊連より「遊技機の認定申請に係る点検確認料の一部改定について」の連絡が届いた。認定申請に係る販社への点検確認料が一部改訂された。日中作業については従来通りであるが、閉店後作業の場合、点検確認料が従来の1000円から5000円にアップする。10月12日より適用との事。

**第15号報告議案「平成29年度機構経費負担金 覚書」報告**

当件について、事務局より説明があった。一般社団法人遊技産業健全化推進機構と運営経費の一部負担金の覚書を交わした。額は9月理事会で報告の通り557万4700円。振り込みは10月5日に済んでいる。

**第16号検討議案「認定機の部品供給について」**

当件について、石川直史理事より議案の提起があった。

<意見>

- ・認定機の部品供給について、日工組からは部品の供給をするというアナウンスがあったが、一部メーカーが部品を出さないという情報がある。
- ・この件については全日遊連も日工組に申し入れをしていると聞く。
- ・三洋は釘チェックシートが出る前の遊技機については部品供給をしないとのこと。
- ・サミーは検定内で何か一つの部品が無くなった時点で何も出さなくするとの事。公平性を持たせるためという事である。

- ・いずれも釘、風車など共通部品も供給なくなるという話。
- ・放置すると認定をとっても部品が壊れた時点で使えなくなってしまう。
- ・この件でメーカーを縛るのは難しいかもしれない。
- ・部品の供給も最初は 6 年間だったはずだが、今は 3 年間しか責任がないという話になっている。
- ・事例を事務局に伝えて日工組に連絡してほしい。

<意見（その他）>

- ・今回、検定期間中に認定機と検定機が混在する。認定機を売るホールが出てくる事が危惧される。
- ・認定を示すホログラムの証紙が足りないので、その証紙も取り合いになるという話もある。
- ・認定のルールは決まったのか？ →都道府県単位での対応。決まっている所もあれば、何も情報がでない都道府県もあり、まちまち。
- ・エヴァンゲリオンが発火事例についてもビステイに督促してほしい。

## その他

### 1. PCSA スケジュール

## 次回開催

11 月通常理事会

平成 29 年 11 月 16 日（木）

正午 12 時～午後 1 時 30 分

TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町「フォレスト」

※当日は、第 16 期第 2 回臨時社員総会、第 62 回 PCSA 経営勉強会も開催されます。

以上